

平成25年度予算編成方針について

1 予算編成における基本方針について

人口動態の変化や経済のグローバル化、エネルギー構造の見直しなど、直面している構造変化による様々な課題に対応するため、以下のとおり基本方針を定め平成25年度の予算を編成していく。

【基本方針】

1 「安心・成長・自立自尊の埼玉」の実現

構造変化による様々な課題を乗り越え、「安心・成長・自立自尊の埼玉」を実現するため、5か年計画の12の戦略及び更なる安心、更なる成長につながる事業に重点化する。

2 斬新な発想による成功モデルの発信

現場に近い地方ならではの斬新な発想で、諸課題を解決する突破口となるモデル事業を発信する。また、民間活力の活用や事業の集中化など、最小限の一般財源で最大限の効果上げる手法を検討する。

3 財政の健全性堅持

事業の新陳代謝を進めることで、重要課題へ対応する財源を確保する。また、県債発行を適切に管理し、臨時財政対策債等を除いた県債残高を着実に減少させる。

2 平成25年度収支不足額（見込み） 1,022 億円
（24年度予算編成方針策定時（同時点） 1,183 億円）

- ◆ 歳入面では、企業収益に持ち直しの動きが見られることから県税などにわずかな増収が期待できるが、政府の財政運営戦略において地方の一般財源の総額は24年度と実質的に同水準とされており、財源の確保は予断を許さない状況にある。
- ◆ 一方、歳出面では、高齢化等に伴う社会保障関連経費や県債の償還などの義務的経費の増加が避けられず、財政状況は依然として厳しい状況が続いている。
- ◆ 今回の収支試算は、歳入、歳出とも一定の前提に基づいて推計したものであり、最終的な予算の姿となるものではない。